

お客様各位

ケンサ元年 社会とともに歩む医学検査
第58回日本医学検査学会展示発表会

ご案内状

開催日／7月30日（木）・31日（金）・8月1日（土）

会場／パシフィコ横浜（展示ホールA・B）

三菱化学メディエンス株式会社



7つの測定法を1台でこなす
全自動臨床検査システム **STACIA**

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、弊社 三菱化学メディエンス株式会社は、本年もパシフィコ横浜にて来る7月30日（木）～8月1日（土）の3日間開催されます「第58回日本医学検査学会展示発表会」に出展するはこびとなりました。弊社はご高承のとおり日本で初めて臨床検査薬を開発したパイオニアとして、また日本を代表する総合臨床検査センターとして多くの実績を積み重ねてまいりました。

ランチョンセミナーの開催とともに、以下の製品・サービスを展示し、皆様のおいでをお待ちしております。

敬具

記

展示

臨床検査機器

全自動臨床検査システム STACIA
小型自動免疫測定装置 PATHFAST
血液凝固自動分析装置 ACL TOP500

臨床検査受託サービス

各種検査のご案内資料の配布

弊社出展ブース案内図



ランチョンセミナー

ランチョンセミナー 20

テーマ： 整形外科領域の術後静脈血栓塞栓症診断における凝固線溶系分子マーカー測定の意義
—D-dimer, 可溶性フィブリン(SF)を中心に—

演者： 柳本 繁 先生（東京都済生会中央病院 整形外科 部長）

座長： 川合 陽子 先生（国際医療福祉大学 臨床医学研究センター 教授）

日時： 2009年8月1日（土） 12:10～13:10

会場： パシフィコ横浜 会議センター4F 第11会場

静脈血栓塞栓症のハイリスク群である人工股関節手術例における、凝固線溶系分子マーカー（D-dimer、SF）測定値と画像診断（超音波、造影MD-CT）との関連性について、D-dimer、SFによる静脈血栓塞栓症モニタリングの意義について解説をしていただきます。

以上